

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		43000	コミュニティ広場等管理費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	体育振興課	担当班	体育施設班
事業種別		6		一般		10	5	2	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業			
施策体系		14		戦略事業		66		コミュニティ・スポーツ広場の管理				
基本施策		6		スポーツの振興		根拠法令						
施策の展開		14		スポーツ施設の維持管理		戦略事業		66		コミュニティ・スポーツ広場の管理		
施策の展開						戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		市民がスポーツに親しめる環境として、市有地等をスポーツ施設として貸出及び維持管理を行う。 【施設概要】 1. コミュニティ広場：①仁玉コミュニティ広場(市有地 1箇所 管理委託)、②仁玉スポーツ広場(土地開発公社が道路代替え地として取得している土地 1箇所 利用者による管理、③新川スポーツ広場(土地開発公社が環境施設として取得している土地 1箇所 環境課から移管され維持管理) 2. 足川浜軽スポーツ場(借地 1箇所 利用者による管理) 【利用手続き】1. コミュニティ広場 利用予約必要 2. 足川浜軽スポーツ場 利用予約不要 【利用料】無料		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・仁玉スポーツ広場は平成12年から、スポーツ広場は平成17年から、土地開発公社所有地の有効活用のため、スポーツ施設として暫定利用することとなった。・スポーツの利用ができる市有地(市有地及び借地)を、貸出できるよう整えた。		・団体による、継続した利用が増えた。 ※土地開発公社所有地活用の見通しが、取得時と変わってきた。		・利用者から、仁玉スポーツ広場について、快適に利用できる施設の整備を求める声がある。 ・利用者から、施設の維持補修について要望がある。(例年：除草作業等)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1.消耗品費	38	フェンス金具 草刈り機部品
2.光熱水費	135	水道 電気
3.修繕料	70	仁玉コミュニティ広場トイレブース修繕
4.委託料	228	維持管理委託
5.その他	190	備品等
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費	1. 消耗品費	千円	22	37	37	38	20
	2. 光熱水費	千円	138	137	144	135	143
	3. 修繕料	千円	715	66	69	70	60
	4. 委託料	千円	158	227	228	228	273
	5. その他	千円	228	168	178	190	165
事業費計 (A)		千円	1,261	635	656	661	661
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	1,261	635	656	661	661

前年度増減理由	原材料費の増
---------	--------

従事職員数	常時 人	最大 人 × 日 = 延べ 0 人
-------	------	-------------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

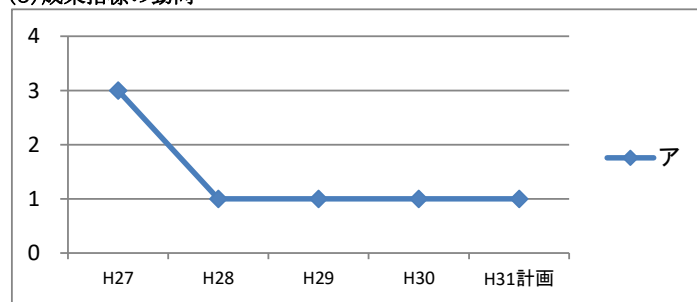
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 仁玉コミュニティ広場利用日数	日	120	119	119	118	117
目的	各施設の維持管理と必要修繕箇所の見極め及び早期対応	イ 仁玉スポーツ広場利用日数	日	120	119	119	118	117
		新川スポーツ広場利用日数	日	120	119	119	118	117
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象意図 スポーツを行う市民 安全で快適に施設を利用できる。	ア 維持管理に関する要望件数	件	3	1	1	1	1
目的	対象意図	イ						
	対象意図							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
				④
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
②				
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 令和元年度 内容 各施設の維持管理と必要修繕箇所の見極め及び早期対応 今後の方向性 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()
	令和元年度末まで 各施設の維持管理と必要修繕箇所の見極め及び早期対応